

2012年12月

J E C 会 員 へ の お 知 ら せ と お 願 い

— 「J E C ニュースレター」(通算第 38 号) —

JEC 理事長：淡路剛久、JEC 事務局長：寺西俊一

JEC 事務局 ML アドレス (jec-hq@einap.org)

JEC-HP (<http://www.einap.org/jec/>)

早くも 2012 年の年の瀬を迎えています。JEC 会員の皆様には、ご健勝にてご活躍のことと存じます。この間、会員の皆様には、JEC の準機関誌である『環境と公害』誌(岩波書店)の第 42 巻第 1 号(2012 年 7 月)～第 42 巻第 2 号(2012 年 10 月)を郵送サービスするとともに、JEC 会員 ML を通じて、同 ML 登録者の皆様には、その都度、関連情報や案内等を配信させていただきました。

今回の「J E C ニュースレター」(通算第 38 号)では、前回の「ニュースレター」(通算第 37 号、2012 年 5 月)以降における JEC の主な活動報告等と合わせて、幾つかのお知らせやお願い等をさせていただきます。皆さま、どうぞ、良いお年をお迎えください。

1. 「JEC 東日本多重災害復興再生政策検討委員会」(略称：JEC 検討委)の取り組みについて：

2011 年の 3 月 11 日(金)午後に発生した東日本大震災と福島第一原発事故から、すでに 1 年 9 カ月が経過しました。この年末、被災を受けた方々の多くが仮設住宅や避難先での不自由な生活を余儀なくされるなかで、なお生活再建の具体的見通しも立たず、深刻な将来不安も抱えながら、2 度目の厳しい冬を迎えておられことに心の痛みを覚えざるをえません。

JEC としては、すでにご案内のとおり、JEC 事務局のもとに「JEC 東日本多重災害復興再生政策検討委員会」(略称：JEC 検討委)を立ち上げ、昨年(2011 年)5 月 20 日(金)の発足会合(第 1 回全体会合)以来、これまでに計 11 回の全体会合を積み重ねてきました(これまでの開催概要については、JEC-HP：<http://www.einap.org/jec/committee/disaster/index.htm>、参照)。

次回(第 12 回全体会合)は、2013 年 1 月 25 日(金)に開催予定となっております。この「JEC 検討委」の取り組みは、今後も継続していきます。この活動やご案内については、JEC-HP

(<http://www.einap.org/jec/>)や JEC 会員 ML 等を通じて、適宜、情報配信を行ってまいりますので、会員の皆様からも、積極的なご協力やアドバイス等を賜りますよう、よろしく願い申し上げる次第です。

2. 「第 27 回ニッセイ財団助成研究ワークショップ」開催の案内について：

2010 年 10 月から 2012 年 9 月までの 2 カ年にわたって、岡本雅美教授(JEC 代表理事・元日本大学教授)を研究代表者として、「持続可能な農業・農村の再構築－自然資源経済の再生－」と題する学際的な総合研究を推進してきました。これは、日本生命財団による特別研究助成を受けたものです。

このたび、同特別研究助成期間が終了したことを受けて、その研究成果発表として、同封の案内リーフレットのとおり、2013 年 2 月 2 日(土)午後、「第 27 回ニッセイ財団助成研究ワークショップ」(於・一橋大学)が開催されます。

JEC 会員の皆様にも、ご関心の方には、ぜひ、ご参加いただければ幸いです。ご参加の場合には、同封の「参加申込書」（2013 年 1 月 25 日締切）にて、お申込みくださるよう、お願いいたします。

3. 「第 30 回日本環境会議」の開催予定について：

今年（2012 年）3 月に開催した「第 29 回日本環境会議島根大会」に続いて、来年（2013 年）8 月 31 日（土）～9 月 1 日（日）（前後の日程にて現地視察コースも検討中）の日程で、「第 30 回日本環境会議宮城大会」（於・南三陸町、会場：ホテル観洋）を開催する予定になっています。目下、この開催に向けて、本大会実行委員長をお願いしている長谷川公一（JEC 理事・東北大学教授）を中心に企画・準備が進められております。この詳細等については、追って、『環境と公害』誌（岩波書店）の第 42 巻第 4 号（2013 年 4 月）等への掲載を含めて、皆様にご案内させていただきます。

4. 「第 11 回アジア・太平洋 NGO 環境会議」（APNEC11 韓国会議）開催について：

2011 年 11 月 19 日（金）～21 日（月）の日程で「第 10 回アジア・太平洋 NGO 環境会議」（APNEC10 台北会議）が台湾（台北市）にて開催されましたが、これに続く「第 11 回アジア・太平洋 NGO 環境会議」（APNEC11 韓国会議）の開催日程が 2013 年 10 月 26 日（金）～10 月 29 日（月）（最終日は現地視察の予定）に決まりました。会場は、韓国・全州の「韓屋村」です。この開催企画案とプログラム案につきましても、詳細が決まり次第、『環境と公害』誌（岩波書店）の第 43 巻第 1 号（2013 年 7 月）等への掲載を含めて、皆様にご案内させていただきます。

5. JEC 会員拡大へのご協力をお願い

この間、500 名以上の JEC 会員をめざしております。とくに次回の「第 30 回日本環境会議」に向けて、ぜひとも、500 名以上の JEC 会員を実現したいと考えております。皆様の周りにおられる関係者に JEC 入会を積極的にお勧めくださるよう、お願いいたします。なお、JEC 入会の申し込みは、JEC-HP (<http://www.einap.org/jec/>) から行っていただくよう、お勧めいただければ幸いです。

6. JEC 会費納入のお願いについて：

この間、今年度（2012 年度）までの JEC 会費（年額 6000 円。学生会員は年額 4000 円に割引。2011 年度以前の会費滞納がある会員にはその分も合わせて）のご請求をさせていただいております。まだ未納の皆様には、速やかな会費納入につきまして、どうぞ、よろしくようお願い申し上げる次第です。

（同封物一覧）

- < 1 > 「JEC 会員へのお知らせとお願い」（「JEC ニュースレター」通算第 38 号）（本状）（A4：2 頁）
- < 2 > 「第 27 回ニッセイ財団助成研究ワークショップ」案内リーフレット & 「参加申込書」